

和名	分類	特徴ほか	会える場所											
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
コムスジ	タテハチョウ科	白黒の縞模様 気持ち良さそうな飛翔	○	○	○	全国								
			成虫発生時期(月)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			○ 食草 ○ 食樹		発生回数/年		越冬形態							
			クズ、フジほかマメ科		3~4		幼虫							



川崎市 4月28日(2019年) ドクダミの葉にとまる



中野島 ハイム 10月23日(2016年)



ホシミスジ ハイム 5月23日(2021年)
長い間ハイムにはいないと思っていたがいた！
ユキヤナギを食す。Photo Henk



ホシミスジ 長野県南佐久郡 7月25日(2019年)
羽の裏のつけね部分に星印があるので判別しやすい

クズ、フジといったどこにでもあるマメ科の草木を食すことからハイム内でも見かける蝶です。パタパタ羽ばたいては滑空という気まぐれでいかにも気持ちよさそうな飛び方をします。

最近、よく似たホシミスジがハイムに生息していることが分かりましたが後羽裏側に星(黒点)が散っているので判別できます。その他の「ミスジ」として、ミスジチョウ(前羽の模様が少し異なる)、オオミスジ(やや山地性で一回り大きい)、また沖縄にはリュウキュウミスジ、ヤエヤマイチモンジ(メスがミスジ模様、オスはイチモンジ模様)、シロミスジがいます。



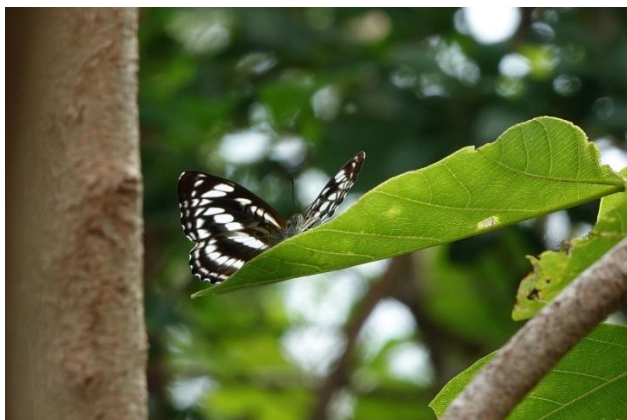
オオミスジ 山梨県 7月16日 (2021年) 名前の通り一際大きい



ミスジチョウ 八王子市 5月26日 (2021年) ブナの樹冠を飛ぶ



リュウキュウミスジ 石垣島 2月10日 / 2月12日 (2020年)



♀ ヤエヤマイチモンジ 石垣島 2月12日 (2020年) ♂



ミスジチョウ 八王子市 5月26日 (2021年)



オオイチモンジ ♀ 長野県松本市 7月20日 (2021年) イチモンジで「ミスジ」ではない